

第2章

桜の現状と課題

第1節 本市の桜の現状

本市は、茨城県の北東部に位置し、東は太平洋に面して海岸線を有し、西には阿武隈山地の支脈である多賀山地が連なり、温暖な気候と海山の豊かな自然の恵みを有する面積225.71km²、人口約17万の中核都市です。

本市には、公園、街路樹及び学校などの市有施設や企業、民地などに植えられた桜があり、多くの市民に愛され、春にまちを華やかに彩ります。

平成2年には、平和通り・かみね公園が日本の「さくら名所100選」に認定され、例年4月に開催される「日立さくらまつり」では、平和通りが約1kmの桜のトンネルとなり、訪れる市民や多くの観光客を笑顔にする、本市の貴重な財産となっています。

桜の市民団体である「花樹の会」が平成7年に市内の桜の現状を調査した結果、市内の桜の本数は、約14,000本である（山間部は除く）という結果が報告されています。

近年では、植樹されてから長い年月を経ている桜が、腐朽菌の侵入や病気の影響などにより空洞ができたり、枯枝が増えたりするなど、樹勢が衰えている状況が多く見られます。



本市を代表する平和通りの桜

1 本市の地勢と桜の分布

(1) 山地

本市は、阿武隈山地南端に位置する多賀山地が多くを占めており、奥山の植生はスギ・ヒノキなどの人工林が中心です。また、山地と山裾から海浜地域にかけて広がる市街地との間には、山麓部の中山間地域が南北に伸びています。

(2) 山麓

里山には、観賞のために各種雑木と共に桜（主にヤマザクラ）が植えられてきた歴史があり、4月前後に市内を南北方向に移動すると、あちらこちらで桜が咲いています。一方で、鞍掛山や神峰山には、煙害復興の為に植林されたオオシマザクラの子孫が現在でも多く見られます。古くからあるヤマザクラとオオシマザクラが混ざり合い、多様な形態（色・開花期）が里山を彩っています。オオシマザクラは繁殖力も強く、海浜エリアの一部には、緑地・裏山にもオオシマザクラの分布が広がっており、里山の桜も本市の桜の特徴の一つです。

(3) 市街地

市街地には、市内を代表するさくらの名所地である「平和通り」「かみね公園」「鞍掛山」「十王パノラマ公園」を始め、市の施設に数多くの桜が存在するほか、企業の敷地や神社等にも桜の存在が見られます。春に開花を迎えるソメイヨシノやその後に咲くサトザクラ系のカンザンやフゲンゾウなどの八重咲きの桜も、まちを華やかに彩ります。その他の季節には、晩秋と春の2回咲くフユザクラや、1月中旬に開花し、3月上旬に見頃を迎える早咲きの日立紅寒桜なども、市内の公園や街路樹などで見ることができます。

(4) 海浜

海浜地区には、潮風に強い桜であるオオシマザクラが見られます。また、南部地区の日立おさかなセンター付近の日立港都市再開発用地では、耐潮性を確認するために実験的に、カワヅザクラやシュゼンジカンザクラ等が植樹されています。



奥山に広がるヤマザクラ



実生で発芽したオオシマザクラ（小貝ヶ浜緑地）

2 桜の樹勢点検結果

令和元年度から令和3年度にかけて、市内の桜の現状を把握するため、市有施設にある桜約7,600本について、樹木医及び街路樹剪定士の資格を有する樹木の専門家による樹勢点検を実施しました。

(1) 樹勢点検の概要

ア 目的

市有施設にある桜の本数や分布状況を把握するとともに、桜の樹勢状況を調査し、さくらのまちづくりを推進していくための基礎資料とします。

イ 点検方法

桜の位置や本数の把握、目視や幹押しによる観察、簡易な道具（木槌、巻尺等）を用いた健康状態のチェックなど、総合的な点検を実施しました。

ウ 主な点検項目

活力度（樹勢・樹形の評価）、テングス病枝の有無、空洞の有無、キノコの有無、枯枝の状況、根元の状況など

エ 樹勢点検票

次ページのとおり

オ 点検結果の活用

点検結果をデータベース化し、各種問い合わせや管理と保全及びさくらのまちづくりを進めるうえでの基礎資料とします。

桜樹勢点検票 (例)

No, ○○○

施設名	○○公園	樹木番号	5	点検日	R3. 5. 24
樹種名	ソメイヨシノ	幹 周	1 7 8 c m	点検者	○○ ○○

点検項目	異常の有無		異常の位置・内容等
樹皮枯死欠損・腐朽	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	欠損 北 GL2. 2m (小)
開口空洞	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
キノコ	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	北 太枝 GL2. 3~4. 3m チャカイガラタケ、南 太枝 2. 2~4. 6m ニクウスバタケ 外
木槌打診(異常音)	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	北・南・西 GL0. 6m~1. 0m
鋼棒貫入異常	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
揺れ	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
傾斜	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
落枝の危険性	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	北東 φ 30 L=2. 0m、南 φ 200 L=2. 0m
突出枝	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	北西 GL1. 0m、南 GL1. 3m
テングス病	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
病害虫	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	コスカシバ類
建築限界超え (外周道路含む)	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり	車道 GL3. 5m
視距の阻害	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
支柱の腐朽・損傷・浮上・結束緩み	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
支柱の樹幹への食込み	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
舗装部の根上がり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
踏圧防止板の損傷・不陸・根元への食込み	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
活力度 (1・2・③・4)	樹勢 (1・2・③・4)		樹形 (1・2・③・4)
特記事項	大枝剪定痕あり 東 電線接触あり		

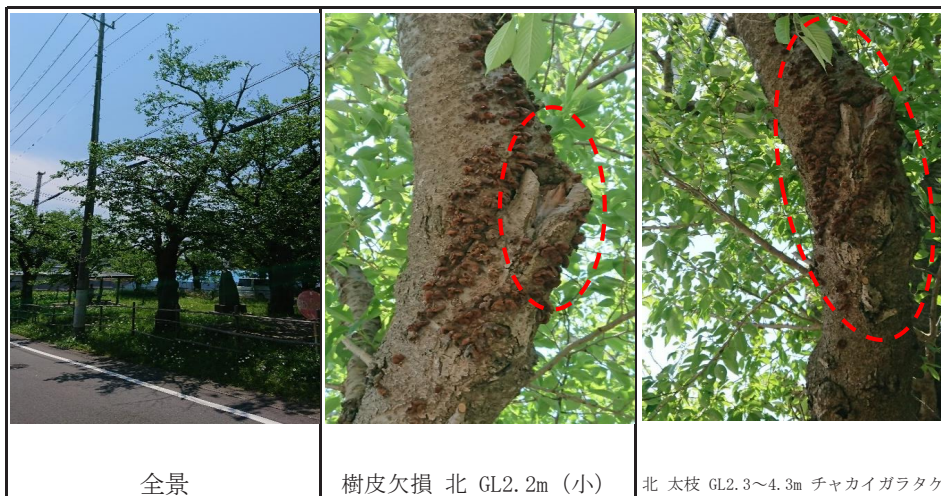


図3 桜樹勢点検票

桜樹勢点検票 (例)

No. 〇〇〇

施設名	〇〇公園	樹木番号	5	点検日	R3. 5. 24
樹種名	ソメイヨシノ	幹 周	178cm	点検者	〇〇 〇〇

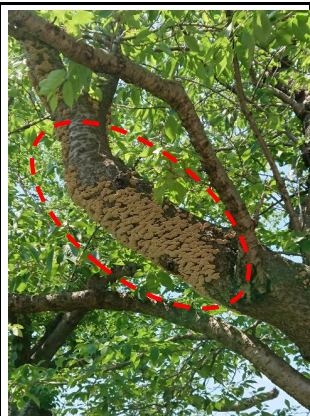
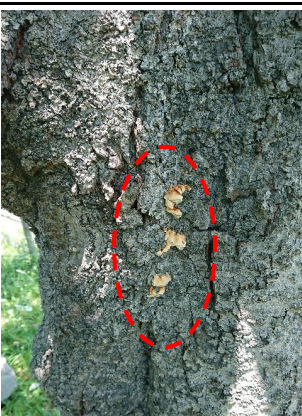

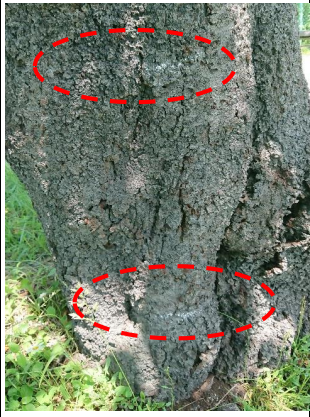
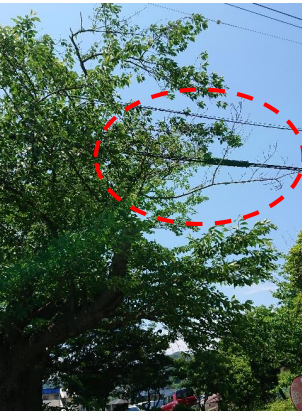




		
南 太枝 GL2.2~4.6m ニクスウバタケ	南 幹 GL1.2m ベッコウタケ	異常音 北 GL=0.6~1.0m
		
異常音 南~西 GL=0.6~1.0m	落枝の危険 北東φ30 L=2.0m	落枝の危険 南φ200 L=2.0m
		
突出枝 北西 GL1.0m	突出枝 南 GL1.3m	コスカシバ類

図4 桜樹勢点検票

(2) 市有施設の桜の調査結果

ア 対象施設及び点検本数

表1

実施年度	対象施設	施設の内訳	点検本数
令和元年度	56施設	小・中・特別支援学校(41施設)、幼稚園・保育園・認定こども園(15施設)	1,186本
令和2年度	290施設	公園(213施設)、市営住宅(21施設)、交流センター(14施設)、スポーツ広場(8施設)、観光施設(4施設)、その他施設(30施設)	4,102本
令和3年度	75施設	緑地等(32施設)、道路(24施設)、上下水道施設(12施設)、その他施設(7施設)	2,316本
合計	421施設		7,604本

イ 点検結果

表2

活力度	点検結果		テングス病り病木	
	本数	割合	本数	割合
1(良好)	865本	11.4%	2,072本	27.2%
2(おおむね良好)	2,756本	36.2%		
3(やや不良)	3,791本	49.9%		
4(不良)	192本	2.5%		
合計	7,604本			

(ア) 活力度について

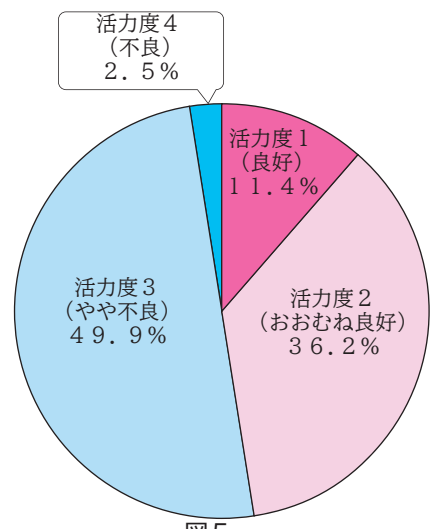
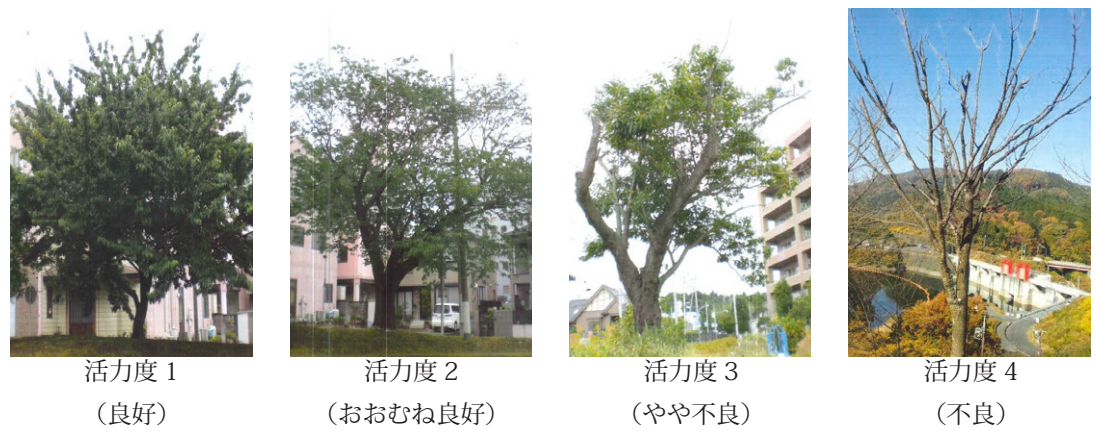


図5

約52%の桜の樹勢が不良若しくはやや不良の状態となっています。

【活力度の例】



(イ) テングス病り病木について

テングス病は、枝先がほうき状になり花が咲かなくなり樹勢が衰退し、やがて枯死につながる伝染病です。約27%がテングス病にり病している結果となりました。

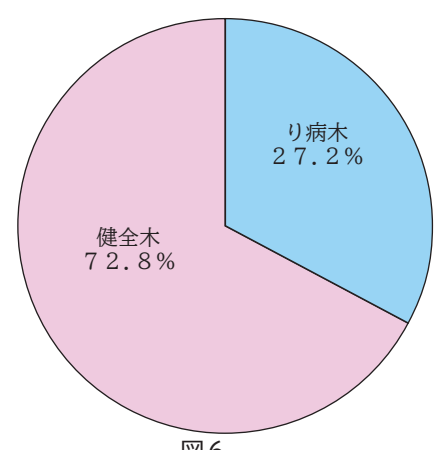


図6

3 さくらのまちづくりの取組

本市では、桜に関して次のような取組を行っています。

(1) 桜に関する取組

ア 桜の保護育成に関する事業

(ア) 平和通り桜更新事業

平和通りは、昭和26（1951）年にソメイヨシノが植樹された、本市を代表する桜の名所です。平成2（1990）年にかみね公園とともに日本の「さくら名所100選」に選ばれています。近年、樹勢が衰退傾向にあることから、計画的な更新を進めています。



更新された桜

(イ) かみね公園桜更新事業

かみね公園は、昭和28（1953）年に地元住民の有志である「神峰公園整備促進会」の労力奉仕による整備作業が始まりました。現在では動物園や遊園地などの施設を有する観光拠点となっています。樹勢の衰えが進行していることから、新たな桜の導入により計画的に更新作業を進めています。



植栽基盤の整備と桜の更新



更新されたジンダイアケボノ

(ウ) テングス病対策事業

桜に蔓延するテングス病は、小枝がほうき状になり、開花時期に花が咲かないばかりでなく、放置すると樹勢を衰退させる恐ろしい伝染病であるため、テングス病に罹り病した枝の切除に取り組んでいます。



テングス病に罹り病した桜

イ 桜を守り育てる事業

(ア) さくら教室

小学生を対象に、学び舎の桜がより身近な存在となるよう、桜に触れ合い、本市の桜の歴史や桜の特性及び管理方法を学ぶことを通じて、郷土の宝である桜を大切に育てる心を育むための取組を行っています。



助川小学校でのさくら教室



授業で作成したさくらポスター

(イ) 技能養成講座

令和2年度に本市内の小中学校の用務員を対象に、桜の日常管理と保全方法の研修を実施しました。座学では、桜の基本的な管理方法や性質、本市の煙害克服の歴史などを紹介し、実技では、桜の剪定方法、施肥の方法、点検方法などの研修を行いました。学校の桜がいつまでも健全に生育できるように努めています。



桜の特性・生育管理に関する講義



現場での実技（施肥について）

ウ 桜を活かしたまちづくり事業

(ア) 日立市さくらのまちづくり推進市民会議

平成8年10月18日に「さくら」を活用したまちづくりを市民と行政が共同で進めることを趣旨として、日立市さくらのまちづくり市民会議が設立され、活動を継続してきました。令和3年7月5日に桜に関する活動組織の再編を図り、日立市さくらのまちづくり推進市民会議を設立しました。さくらのまちづくりを推進するための計画立案や審議等を行うとともに、さくらのまちづくりに取り組む市民との協働に関する事業等を実施しています。



設立総会の様子



本市と桜の背景についての説明

(イ) 重要管理拠点の整備活動

・ 平和通り・かみね公園

日本の「さくら名所100選」に選ばれている平和通り・かみね公園を次の世代に引き継ぐため、地元コミュニティ、市民団体、学校、企業等で構成された「平和通り・かみね公園さくら名所100選委員会」による整備活動を行っています。

・ 鞍掛山

「市民参加の世代を越えた22世紀のさくらの山づくり」をコンセプトに、地元コミュニティ、市民団体、学校、企業等で構成された「鞍掛山さくら100年委員会」による整備活動を行っています。



かみね公園での整備活動（施肥作業）



鞍掛山での整備活動

エ その他

(ア) 私の好きな地域のさくら22選

市制60周年を記念して、平成11年5月に市民活動の単位となっているコミュニティ22地区それぞれの地区ごとに1か所又は1本の桜を市民の投票により選定しました。



熊野神社の桜



助川小学校の五代桜

(2) 市民団体の活動

ア 花樹の会

平成5年に設立され、住民主体のみどりのまちづくりを目的に、桜の保全管理活動やイベントへの協力を実践しています。

イ さくらのまちづくりを進める市民の会

平成9年に桜を活用したまちづくりに関心と意欲のある幅広い市民の参加により、日立市ならではの特色あるまちづくりの実現を目指して設立され、自らの知恵、資金及び労力によってさくらのまちづくりに関する実践活動を行っています。

ウ 日立市観光物産協会、日立商工会議所

本市の観光・商工業振興のため、桜に関するイベント等の協力・支援・情報発信などを行っています。

エ ライオンズクラブ、ロータリークラブ

市内公園や街路樹等への植樹や整備活動への参加など、本市のさくらのまちづくりに貢献しています。

オ 茨城県庭園樹協会県北日立支部

日立市内の造園業者を中心とした団体で、樹木に関する知識や管理技能を発揮し、本市のさくらのまちづくりに様々な協力や貢献をしています。

カ 茨城県北日本花の会

本市の桜に関する提言や情報発信などを行うとともに、公園や道路等への植樹や整備活動への参加など、本市のさくらのまちづくりに貢献しています。

(3) 桜に関するイベント

ア 日立さくらまつり

毎年4月上旬から中旬に平和通り・かみね公園等を会場として開催する日立市最大のお祭りです。日立風流物（ユネスコ無形文化遺産）の公開や、さくらロードレースが行われます。



平和通りのソメイヨシノと日立風流物



平和通りの夜桜

イ 全国さくらサミット

昭和62年に島根県木次町（現在の雲南市）において、自治体間の交流や情報交換をねらいとした継続性のあるイベントとして創設され、「さくら」をまちのシンボル、そして地域振興の核として位置付ける自治体が加盟し、意見交換などを実施しています。平成13年に本市で、「第13回さくらサミットINひたち」が開催されました。

日時：平成13年4月7日、8日

主催者：第13回さくらサミットINひたち実行委員会

共催者：日立市さくらのまちづくり市民会議等

内容：基調講演、共同宣言採択、現地見学会、記念植樹等



全体会議の様子



会場の様子

ウ 全国さくらシンポジウム

昭和57年から（公財）日本花の会が主催で、昭和61年からは市町村との共催により、さくらの名所づくりの取組事例の発表等を通じて、観光振興や景観美化などの地域づくりまちづくりの推進を目的とし、シンポジウムが開催されています。平成29年に本市で、「2017全国さくらシンポジウム in 日立」が開催されました。

日 時：平成29年4月6日、7日

主 催 者：2017全国さくらシンポジウム in 日立実行委員会
公益財団法人日本花の会

共 催 者：日立市

内 容：記念講演、活動報告、現地見学会



シンポジウムの様子



現地見学会の様子

(4) 桜に関する調査・報告

ア 日立市内さくら樹木実態調査報告書

平成7年に市民団体である「花樹の会」が桜を調査し、市内に約14,000本の桜があることや、約42%の桜がテングス病に罹り病していることなど、市内の桜の状態に関する事項が報告されました。

イ 日立らしさを活かしたさくらのまちづくりに向けて

平成9年に日立市さくらのまちづくり市民会議が、さくらを活かしたまちづくりに向けた提言書を作成しました。

ウ 調査報告書「日立のさくら－ルーツと歩み－」

平成10年に「日立のさくら－ルーツと歩み－」編集委員会が、日立市の桜の歴史等について報告書にまとめました。

エ 桜の山づくり研究会報告書

平成18年に「桜の山づくり研究会」が、「市民参加の世代を越えた22世紀のさくらの山づくり」をコンセプトに、鞍掛山の保全や活用方針に関する提言を作成しました。

オ 将来に向けた日立のさくらの方向性について

平成23年に「日立市さくらのまちづくり市民会議」が、「さくらの拠点づくり」「市内のさくらの保護・育成」「さくらに関する情報発信」に関する提言書を作成しました。

第2節 桜に関する課題

1 市民の意識

(1) 市民アンケート調査の実施

ア 目的

さくらのまちづくり基本計画の策定に向け、市民ニーズを把握するため。

イ 実施方法

- (ア) 実施時期 令和3年9月9日（木）から9月22日（水）まで
- (イ) 対象者 市内在住2,000人（16歳以上、無作為抽出）
- (ウ) 回答方法 郵送又はスマートフォン等からの電子申請による回答

ウ アンケート項目 全37問

- (ア) 「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継いでいくまちづくりに関すること
 - (イ) 誇れるふるさと（故郷）のシンボルに関すること
 - (ウ) 桜による魅力的な交流拠点創出に関すること
 - (エ) 桜を活用することによる地域の活性化に関すること

(2) 市民アンケート調査の結果

ア 回答数 821件（回収率 約41%）

イ 結果の概要

- (ア) 本市の重要管理拠点である鞍掛山などで、桜を守り育てる活動が行われていることを初めて知ったという回答が82%と多い結果となりました。
さくらのまちづくりに携わる機会を創出していくことが必要であると考えられます。
- (イ) 本市の桜の歴史を初めて知ったという回答が31%という結果となりました。
子どもの頃から桜について学ぶさくら教室などを通して、桜を誇りに思う取組を更に推進する必要があると考えられます。
- (ウ) 市内での花見は平和通り及びかみね公園の利用するという回答が62%と多い結果となりました。
これらの施設の魅力向上を図ることが桜の名所づくりに必要であると考えられます。
- (エ) 本市固有の桜を観光資源やまちの活性化に利活用できると思うという回答が53%という結果となりました。
これらの桜を桜の名所づくりに活用するとともに、回遊性の創出により、まちの活性化につなげていくことが必要であると考えられます。

(3) 市民アンケート調査抜粋

ア 「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継ぐまちづくりに関する回答

(ア) あなたは、鞍掛山において「市民参加の世代を超えた22世紀の山づくり」をコンセプトに官民協働により桜を守り育てる整備活動が行われていることを知っていますか。(1つ選択)

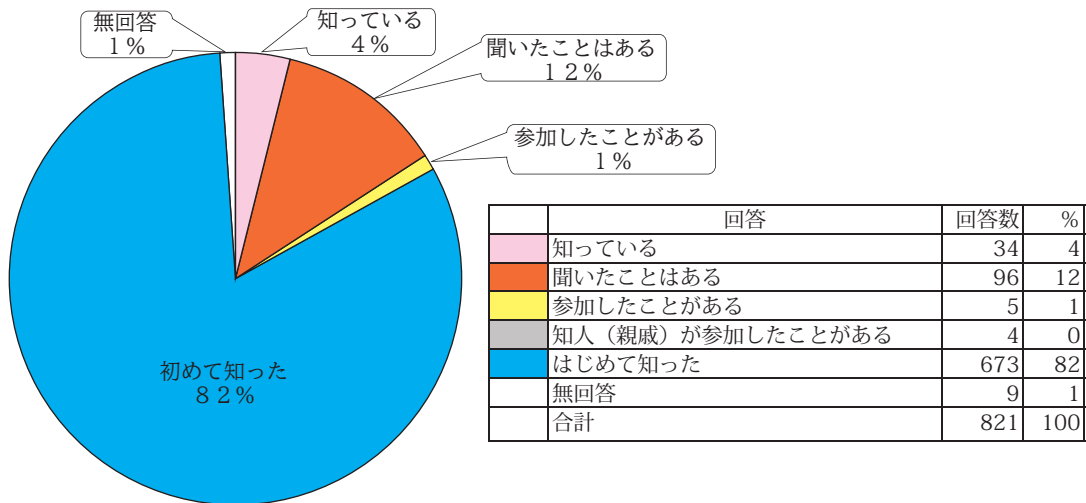


図7

(イ) 昨年、未来を担う子どもたちとともに、かみね公園において「桜の植樹祭」を開催しました。また、子どもたちと一緒に、既存の桜を元気にするため肥料をあげました。あなたは、このような取組について継続して実施すべきだと思いますか。(複数選択)

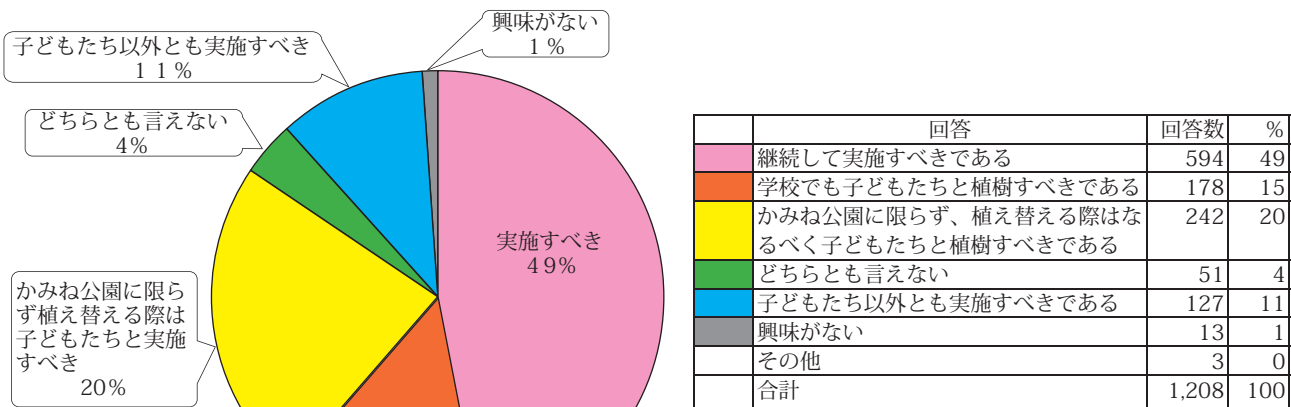
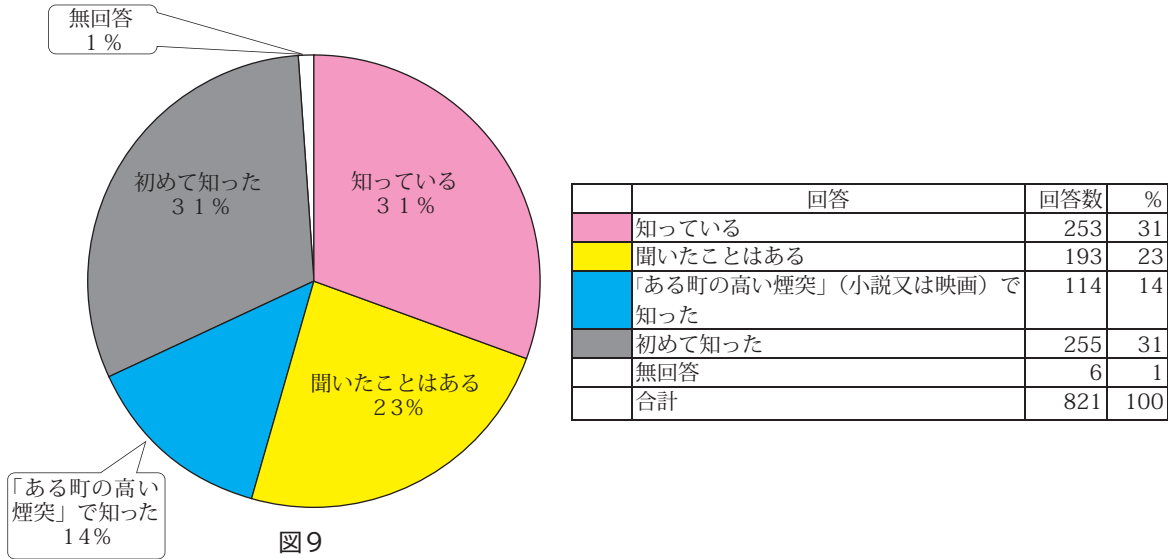


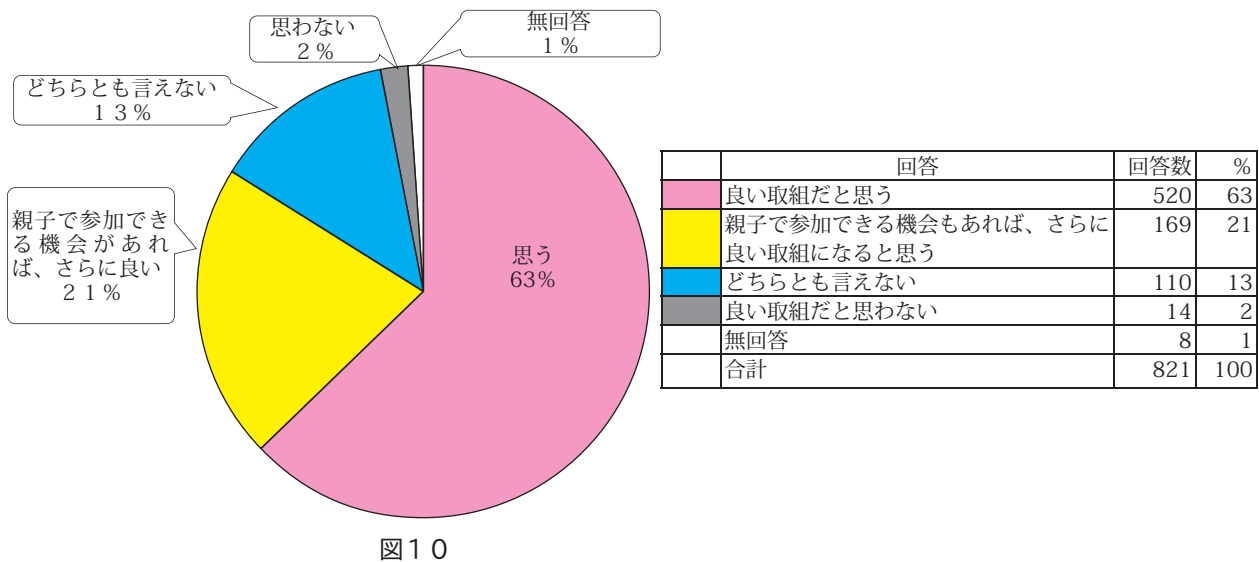
図8

イ 誇れるふるさとのシンボルとしての意識の醸成に関する回答

(ア) あなたは、煙害問題の克服と緑を取り戻すため、先人達が取り組んだ歴史が本市の桜のルーツであることを知っていますか。(1つ選択)



(イ) 本市は、桜に対する意識の醸成を図る一助として、小学校と協力して「さくら教室」を試行授業として始めています。あなたは、この授業を良い取組だと思いませんか。(1つ選択)



ウ 桜を活かした魅力的な交流拠点に関する回答

(ア) あなたは、日立市内において桜の花を鑑賞する場合（お花見を含む）、どこを利用していますか。（複数選択）

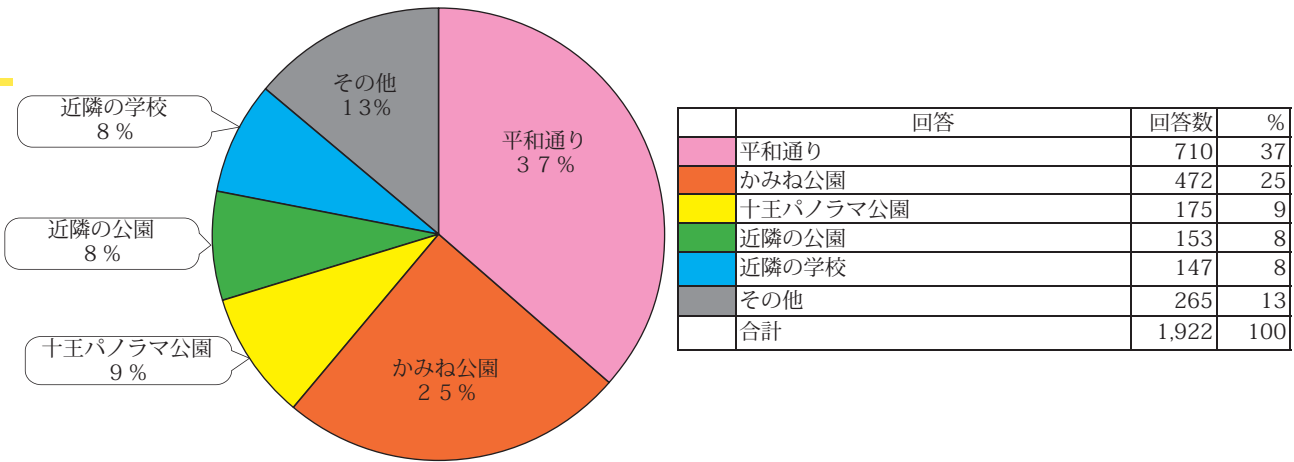


図11

(イ) あなたは、日立市固有種の桜があることを知っていますか。（1つ選択）

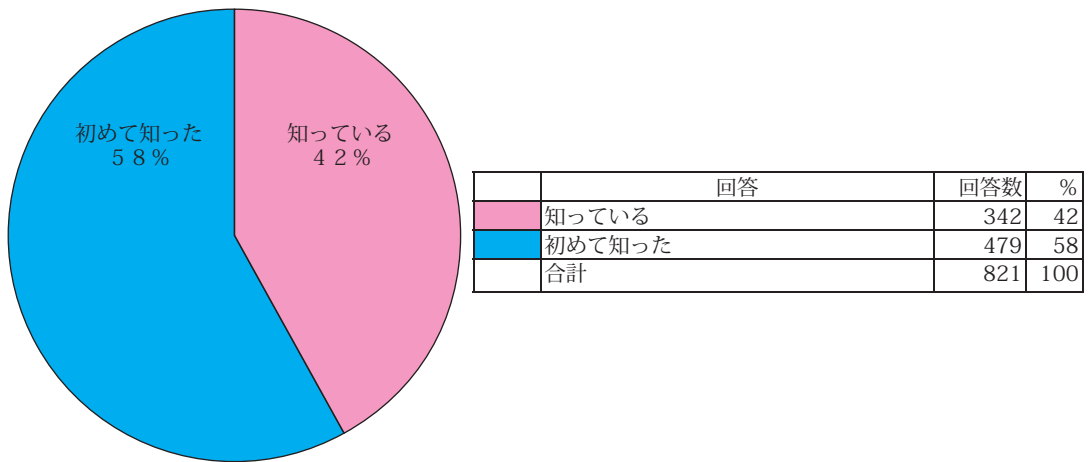


図12

エ さくらのまちづくりによる地域の活性化に関する回答

(ア) あなたは、日立固有種の桜が観光資源やまちの活性化に利活用できると思いますか。(1つ選択)

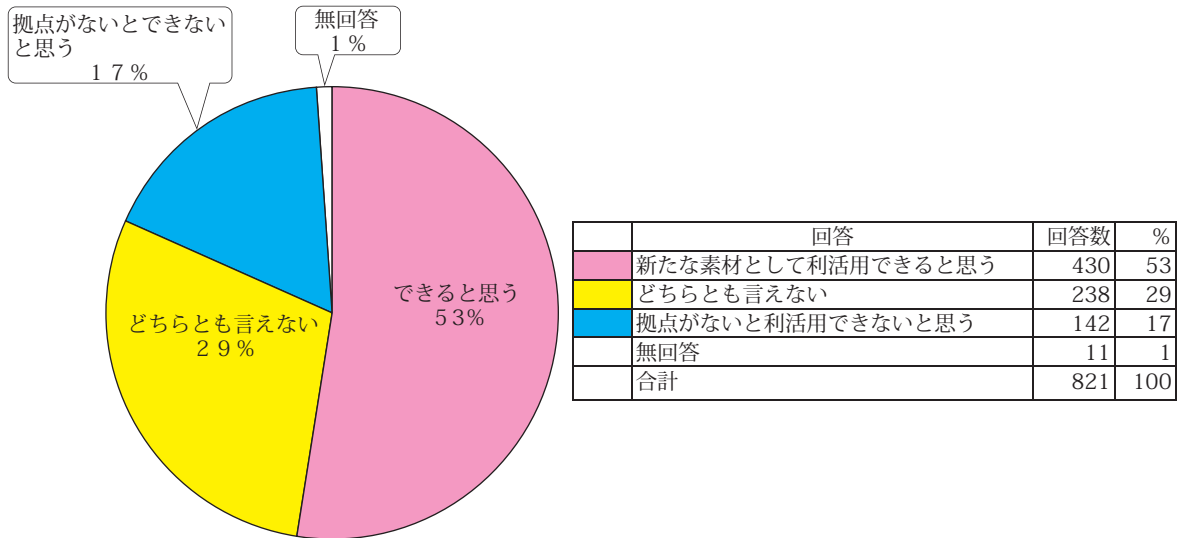


図13

(イ) あなたは、桜を活用したまちの回遊性が必要だと思いますか。(1つ選択)

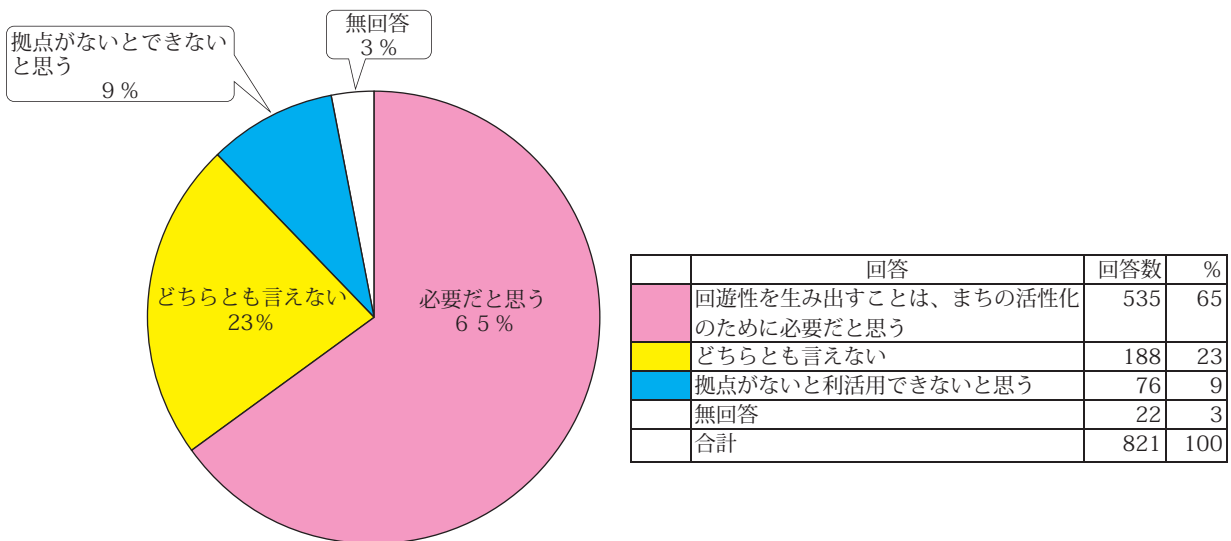


図14

2 本市の桜に関する課題

本市の桜の現状や市民アンケート結果等により、次の課題が明らかになりました。

(1) 桜の衰弱化

本市の桜の名所である平和通りやかみね公園を始め、桜が植樹されてから年月が経過している桜が多くなっているとともに、樹勢点検の結果、樹勢の衰えが進んでいる桜があることがわかりました。

(2) 企業・民地の桜の管理と保全

市有施設に限らず、企業や市民が所有する桜も、本市の春を彩る桜の一部であることから、これらの桜も良好な管理と保全をしていくための体制を整えていく必要があります。

(3) 桜を大切にする意識の醸成

本市の桜のルーツを知らない市民もいることから、郷土の宝である桜を大切にす意識を醸成する取組を進める必要があります。

(4) 桜を守り育てる活動や技能を学ぶ場の提供

桜が良好な樹勢を長い間保つためには、日常管理や保全活動は欠かせません。桜の整備活動などに参加している市民は少なく、守り育てて行くための知識や技能を学ぶ場を提供する取組がより一層必要です。

(5) 桜の名所の魅力向上

平和通りやかみね公園は、本市を代表する桜の名所となっていますが、多くの市民は更なる魅力ある桜の名所を求めています。桜の樹勢回復や新しい桜の導入などによる魅力向上を図る仕組みが必要です。

(6) 桜を活かした地域活性化

新たな桜の拠点整備や観光資源と桜を結びつけて魅力向上を図る取組が不足しています。桜を活用して回遊性を創出し、地域活性化に結びつける仕組みが必要です。

日立市内で見ることができる主な桜

・ソメイヨシノ（染井吉野）

花の形　：一重咲き

開花時期：4月上旬

現在、日本で最も広く栽培されている品種です。エドヒガンとオオシマザクラが交配して誕生したと考えられており、江戸末期に、江戸染井村で吉野桜と名付けられて広まったと伝えられています。



・オオシマザクラ（大島桜）

花の形　：一重咲き

開花時期：4月上旬

伊豆から房総に分布する野生種で、葉や花が大きく花に芳香のあるものが多く、白い花が咲くと同時に緑色の葉が出るのが特徴です。鉾山の煙害を克服するため植林された「日立のさくら」のルーツとなっています。

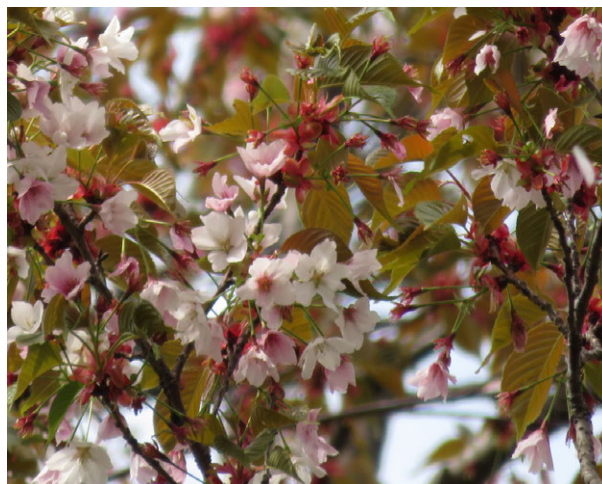


・ヤマザクラ（山桜）

花の形　：一重咲き

開花時期：4月上旬

本州、四国、九州に分布する野生種です。白い花と同時に開く赤みの強い若葉が美しく、古来より鑑賞の対象とされた桜です。奈良の吉野山や桜川市は有名な名所地です。



・フゲンゾウ（普賢象）

花の形　：八重咲き
開花時期：4月中旬

東京府江北村（現・東京都足立区）の荒川堤で栽培されていた品種です。その名は室町時代から知られ、葉化した2本の雌ずいの先端が曲がっていて、その状態が普賢菩薩が乗っている象の鼻に似ているのでこの名がついたといわれています。



・ギョイコウ（御衣黄）

花の形　：八重咲き
開花時期：4月中旬

緑色の花に由来する高貴な色の名がついた桜。花弁に緑色の筋が入る珍奇な花色で有名な栽培品種。品種名はこの花色を貴人が着用する衣服の色に見立てたものといわれています。



・カンザン（関山）

花の形　：八重咲き
開花時期：4月中旬

東京府江北村（現・東京都足立区）の荒川堤で栽培されていた品種です。花色が濃紅色で美しく、生育もよいので海外でも広く栽培されています。また、お祝いの席で出される桜湯には、この花の塩漬けが用いられます。

